

2 エリア構想

基本方針

5つのエリアについて、主なハード整備を中心に、整備施設の特徴・効果を生かすソフト施策も含めて「エリア構想」として設定し、地域振興計画等との連動により、地域の個性ある魅力づくりや更なる成長・発展につなげる

構想

■ 北部グローバル構想

京都舞鶴港を拠点に海外（グローバル）に開かれた交流と、「誇れるふるさと」「住み続けられる地域づくり」「若者が戻ってくる地域づくり」（ローカル）をコンセプトとした構想



京都舞鶴港



天橋立公園

■ 京都スタジアムを中核とするスポーツ&ウェルネス構想

京都スタジアムを核に地域の医療系大学や総合型地域スポーツクラブと連携し、アスリートスポーツから府民・健康スポーツやウェルネス運動まで、元気あふれる交流の構想



■ 北山「文化と憩い」の交流構想

旧総合資料館跡地等の活用や、京都学・歴彩館、府立植物園、京都コンサートホールなど京都が誇る文化の集積を生かすとともに、MICE機能の充実によって府民の広域的な交流を促進する構想



府立植物園



京都学・歴彩館

■ 新名神を活かす「高次人流・物流」構想

新名神高速道路の全線開通という新国土軸形成を生かし、西日本最大級のアウトレットモールや次世代物流拠点の誘致など、人流・物流を核とした構想



城陽JCT・IC (出典：NEXCO西日本)

■ スマートけいはんな広域連携構想

Ma a Sを中心に超スマート社会を先取りする次世代型の取組に加え、相楽東部を「ゆとりの生活空間・癒やしの空間」としてエリアに取り込む構想

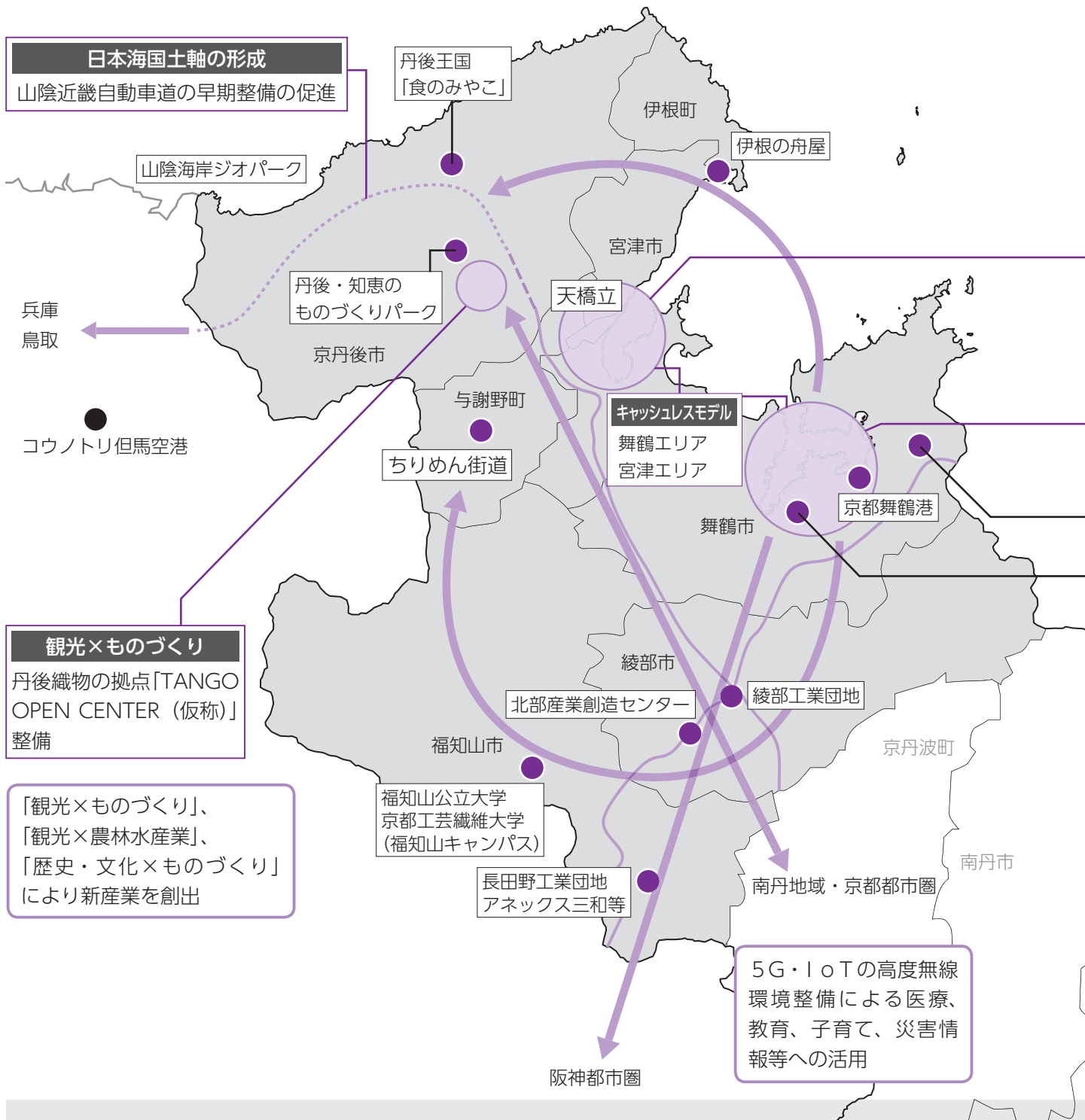


精華・西木津地区

北部グローバル構想

■ 地域資源を生かした職住一体型生活圏の構築による魅力ある暮らしの実現

整備が進展する京都舞鶴港や高速道路網等の基盤を最大限に生かし、海外に開かれた交流と、「誇れるふるさと」「住み続けられる地域づくり」「若者が戻ってくる地域づくり」をコンセプトに、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会と連携し、新たな産業拠点の形成と職住一体型生活圏の構築を進めます。



主要な取組

- AI・IoT等新技术による魅力ある職住一体型生活圏の構築
- ヘリ&クルーズ等観光をベースとした新たな産業活性化の拠点づくり
- キャッシュレスモデルエリアの創設

京都舞鶴港、天橋立、舟屋の里、丹後郷土資料館、夕日ヶ浦等の観光拠点・地域資源について広域周遊ネットワーク化（ヘリ&クルーズ観光）

京のブランド水産物の構築
体験型観光「漁観連携」

大型クルーズ船の寄港増による対岸交流のゲートウェイ機能強化

天橋立の世界遺産登録
地域活性化拠点づくり

宮津エネルギー研究所用地の活用
宿泊施設、ヘリポートの誘致・整備
丹後郷土資料館リニューアル

京都舞鶴港の整備

国際ふ頭Ⅱ期整備
第2ふ頭の岸壁整備
旅客ターミナル等整備
国道27号（西舞鶴道路）
臨港道路上安久線 ほか



丹後王国「食のみやこ」



京都舞鶴港荷役状況（舞鶴国際ふ頭）

舞鶴工業高等専門学校

京都職業能力開発短期大学校

「大学×ものづくり」によるイノベーションの創造と人材育成

「半農半X」、「二地域居住」など多様なライフスタイルの実現

京都市

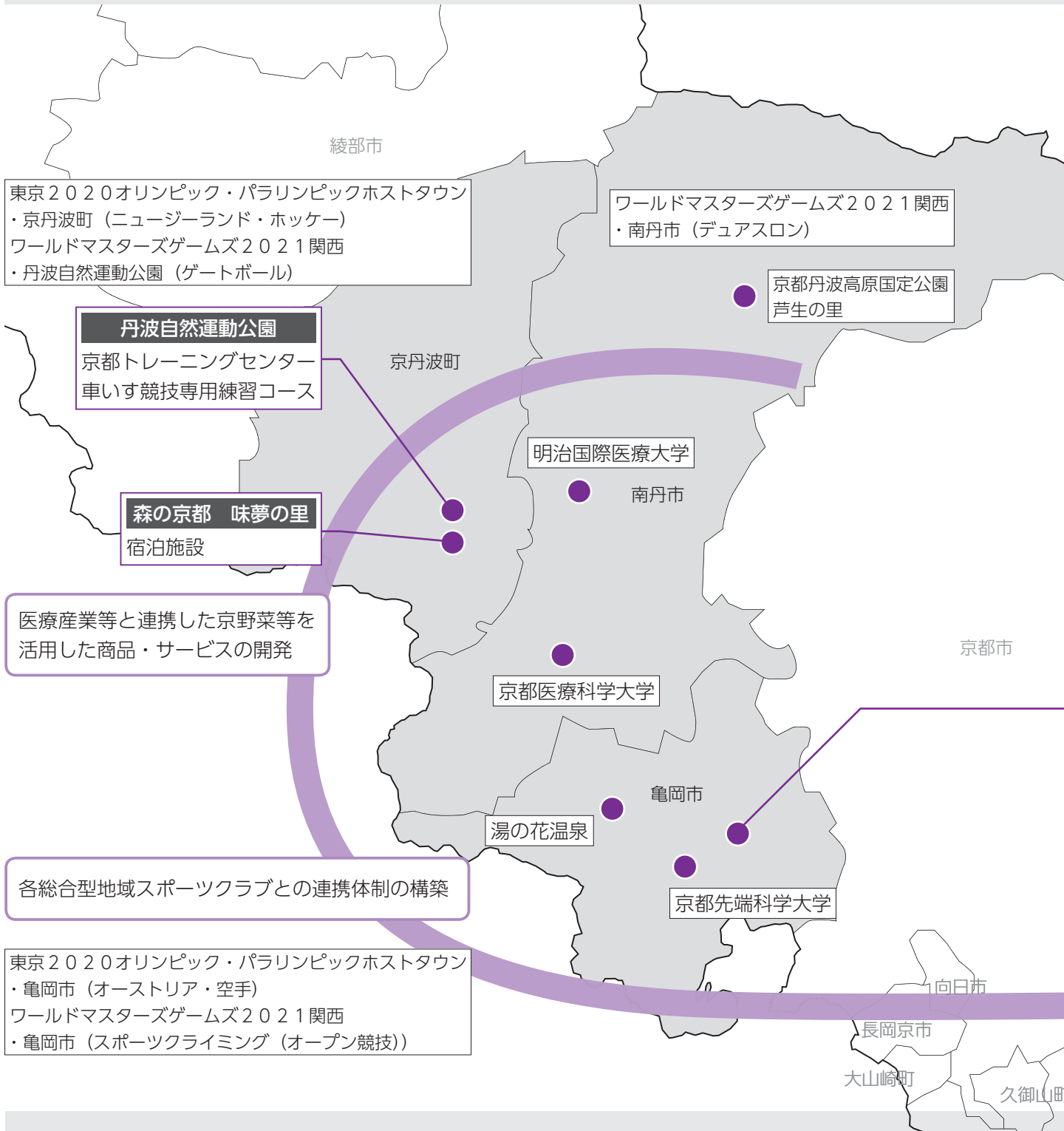


北部産業創造センター

京都スタジアムを中核とするスポーツ&ウェルネス構想

■ 京都スタジアムを核とした元気あふれる交流都市圏の形成

「京都スタジアム」の完成を契機に、大学や京都トレーニングセンター、府内スポーツ施設の連携を進め、丹波高原や桂川・由良川もフィールドとして活用しながら、内外から人が集まる日本有数のスポーツ・健康エリアとして、食やスポーツ科学と連携した地域づくりを進めます。



主要な取組

- トップアスリートの育成とスポーツのメッカづくり
- スポーツ、食や癒しによる健康づくりの先進モデル地域づくり

京都丹波地域におけるスポーツ施設や医療科学系大学等の立地状況を生かし、競技スポーツ・生涯スポーツを両輪で進めるとともに、温泉を生かした健康産業や自然環境を生かしたアクティビティ関連産業を創出

東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンやワールドマスターズゲームズ2021関西の開催等を通じた国際交流やインバウンド等への外国語対応を促進

京都スタジアム

- ・ サッカーの国際試合などに対応（約21,600席）
- ・ 屋内クライミングウォール
- ・ eスポーツ
- ・ ミュージックキャンプ「府民総合奏」開催
- ・ VR、AR等の技術を用いたスポーツ環境、観戦環境の提供
- ・ 中北部地域への人の流れを造る新たなゲートウェイ

オーベルジュ、農家民宿、自然景観等をつなぐ、体験型・キャッシュレス対応型周遊観光の環境整備

トップアスリート育成
国際競技大会の誘致

宇治市



京都美山サイクルロードレース



京都トレーニングセンターでのトレーニング指導

北山「文化と憩い」の交流構想

■ 京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリアの形成

旧総合資料館跡地を活用した「シアターコンプレックス」や、開園100周年を迎える府立植物園など、芸術の発信や賑わい・交流機能を有する施設の整備に取り組むとともに、国際MICEを促進し、文化庁移転を契機として、国内外から人が集い、交流し、京都から新しい文化創造を進めます。

旧府立総合資料館（跡地活用）

- ・舞台芸術・視覚芸術が集積した創造・発表の機能

シアターコンプレックス構想

劇場を中心に、創作ホール、展示空間、練習場等を集積したシアターコンプレックスを整備

- ・コンベンション、宿泊、飲食施設等の集積や、魅力的なイベントの開催等、賑わい・交流機能

アリーナの整備検討

府立医科大学、府立大学、京都工芸繊維大学の共用体育館機能を有したアリーナの整備検討

大学や企業と連携した国際MICE施設などの基盤整備や既存施設の活用促進

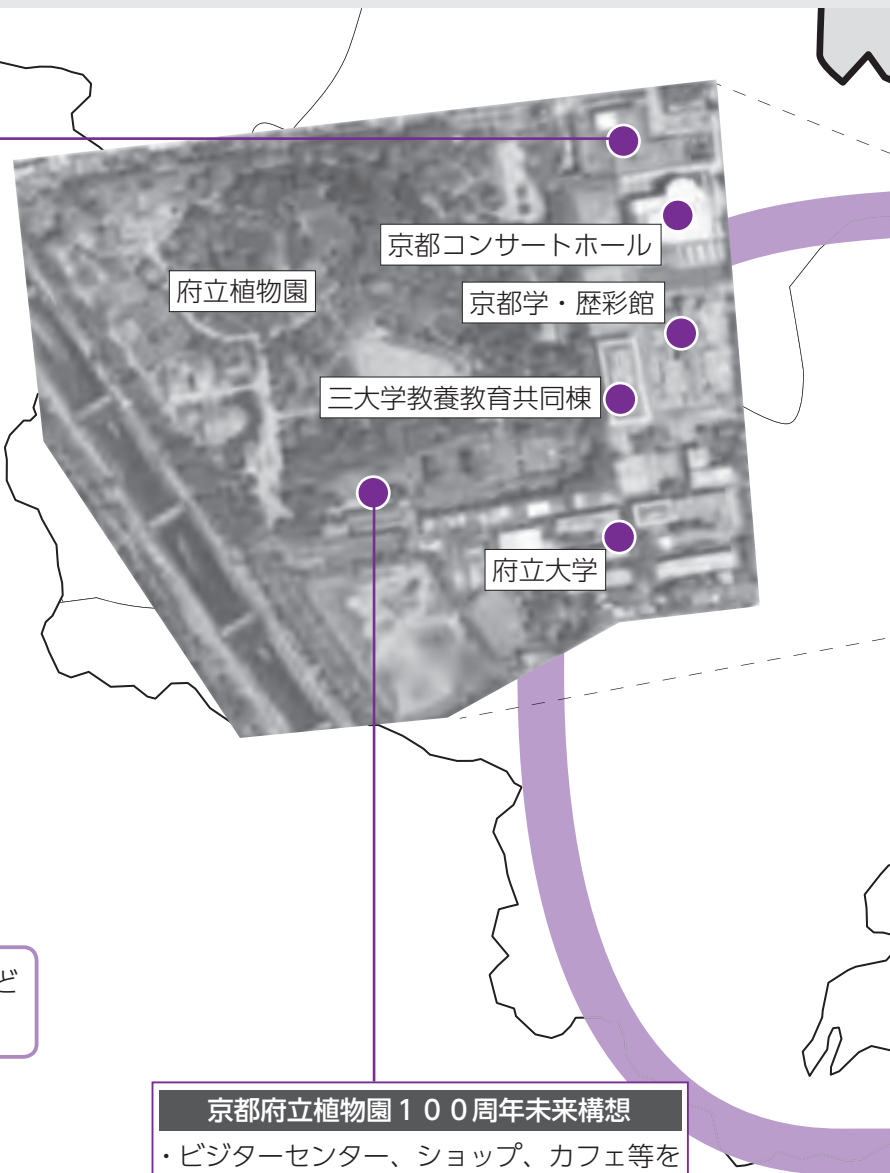


京都学・歴彩館

京都府立植物園100周年未来構想

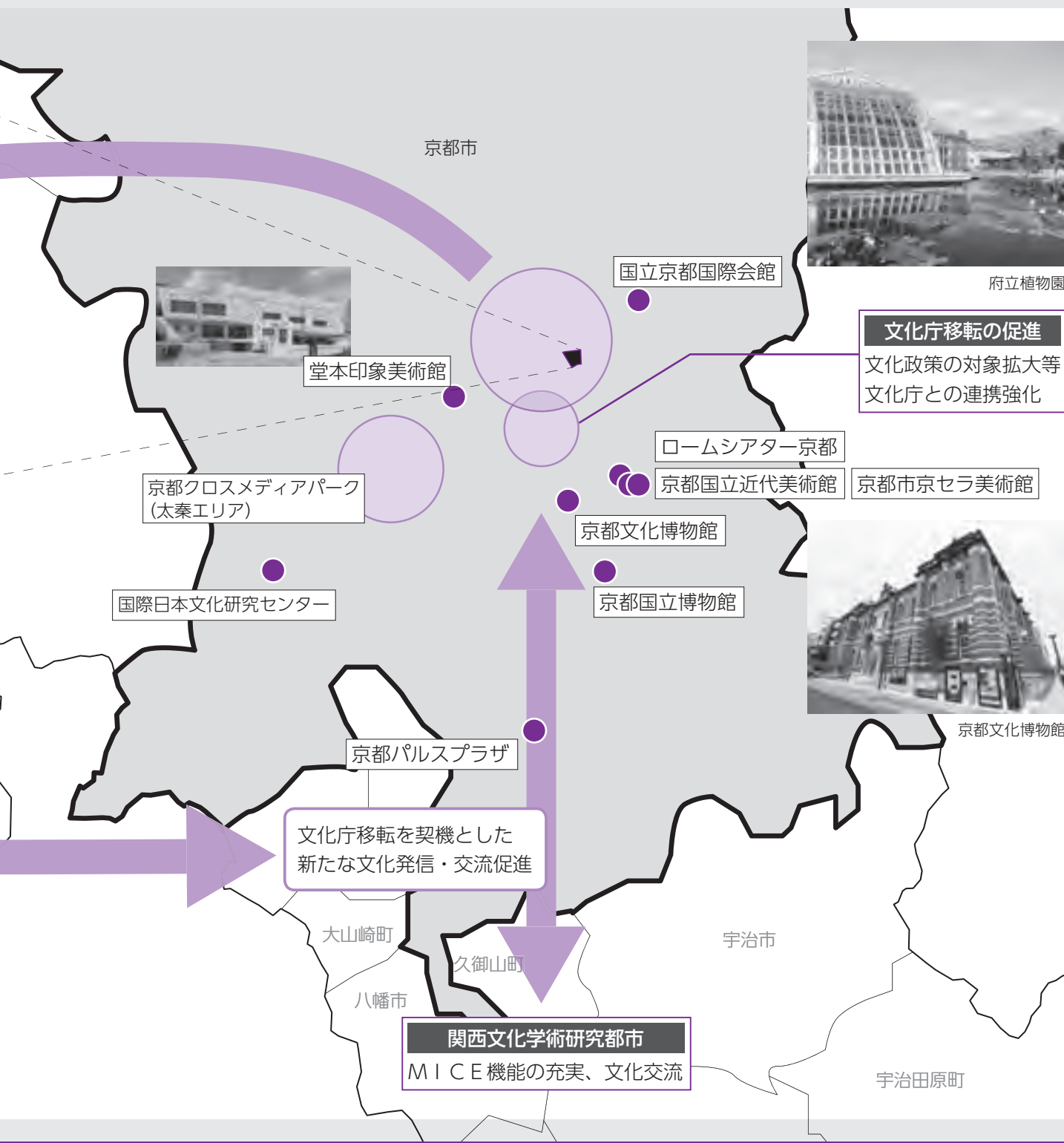
- ・ビジターセンター、ショップ、カフェ等を備えた複合的な正門エントランスの整備
- ・ゾーン内に立地する各施設との垣根のない連携

府内博物館・美術館等ネットワークを活用した地域文化の振興
国際MICEを契機とした分科会、ツアー、エクスカージョンなど



主要な取組

- 旧総合資料館跡地活用に伴う新たな文化芸術・交流発信拠点づくり
- アリーナの整備検討



新名神を活かす「高次人流・物流」構想

■ 関西の「へそ」となる人流・物流・産業の広域拠点づくり

新たな国土軸である新名神高速道路の全線開通のインパクトを生かした人流・物流・産業の拠点形成に取り組むとともに、国際空港や港湾などとの連携も視野に入れた経済圏、良好な住環境を備えた生活圏の形成を進めます。



阪急西山天王山駅

乙訓ゲートウェイゾーン

- ・ J R 向日町駅等周辺整備の促進
- ・ 西山天王山駅ターミナル機能強化
- ・ 阪急京都線連続立体交差の促進
- ・ 京都市内・府中北部観光との連携強化など

新名神高速道路

- 2023年完成目途
- ・ 大津～城陽間
 - ・ 八幡京田辺～高槻間

京都南部産業立地等促進ゾーン

- ・ 久御山町新市街地整備
- ・ 淀川河川公園整備促進
- ・ 八幡京田辺 J C T ・ I C 周辺整備促進など



(都) 東中央線の整備 (城陽井手木津川バイパスとの接続)

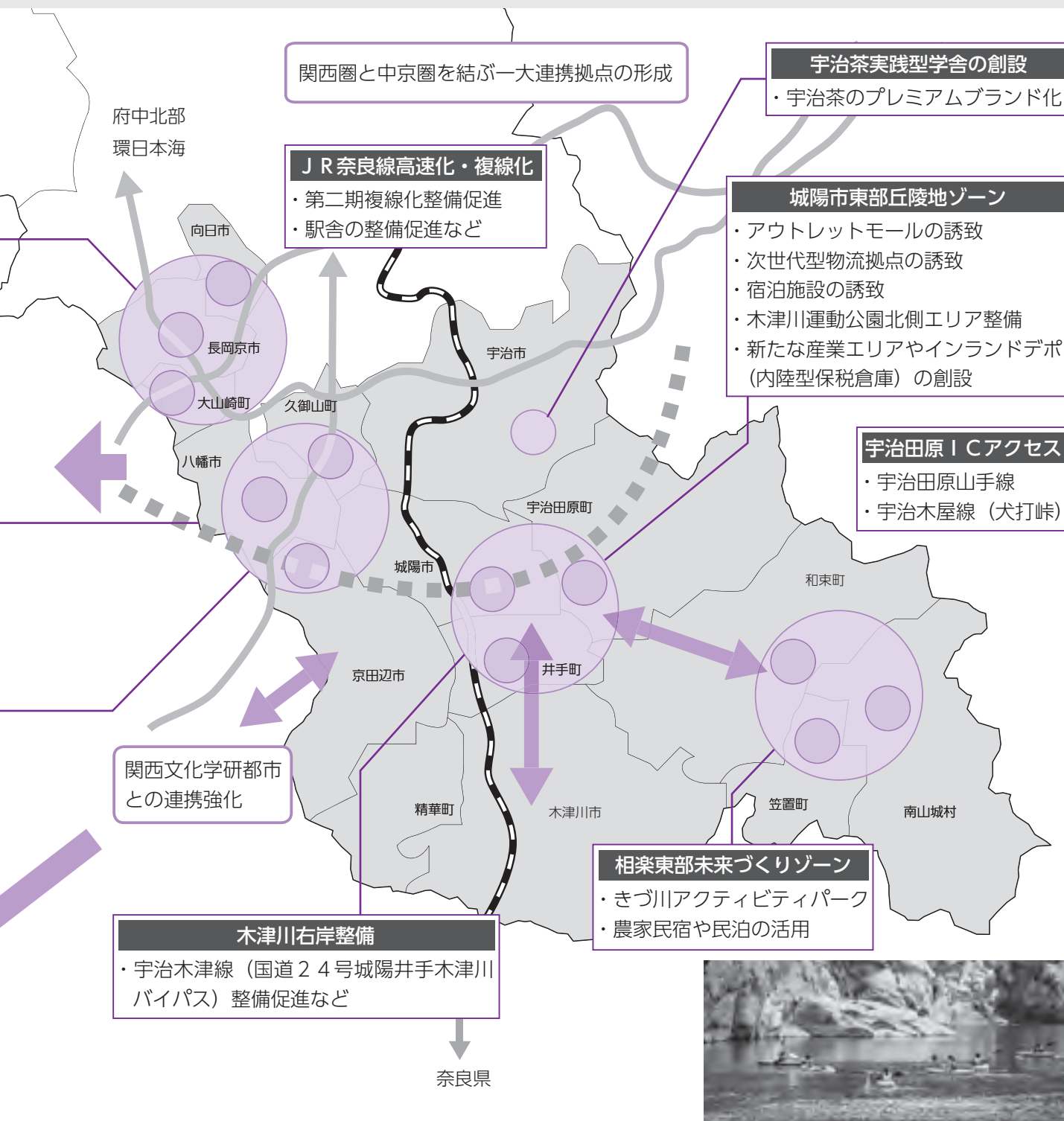
大阪府
関西国際空港

主要な取組

- 西日本最大級のアウトレットモールの誘致
- 次世代型物流拠点の誘致
- 新たな産業エリアやインランドデポ（内陸型保税倉庫）の創設



アウトレットモール（イメージ）



スマートけいはんな広域連携構想

■ 環境にやさしく持続可能な「次世代型スマートシティ」の実現

未来の「超スマート社会（Society5.0）」を見据えた利便性が高い都市モビリティや安心・快適な生活環境等、スマートシティの実証を進めるとともに、「ゆとりの生活空間・癒やしの空間」である相楽東部地域まで拡大し、広域的に次世代型スマートシティの実現を進めます。



けいはんなロボット技術センター



連節バス

2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）の開催に合わせ、科学や文化・学術の体験型イベントを一体的に実施し、暮らしの中で文化・学術・研究の成果を感じられる機会を創出

学研都市×相楽東部の展開により「次世代型スマートシティ」の実現をめざす

学研都市を中心とした南部地域の鉄道ネットワークの充実強化

関西文化学術研究都市 南田辺・狛田地区

- ・新産業創出を核とした「まちづくりビジョン」の策定
- ・企業誘致

大阪府
関西国際空港

MaaSシティの実現

- ・交通サービスを全て統合し、検索、予約、決済を一括して行うことができるMaaSの「レベル4」を実現
- ・AIやIoT、ロボット技術（けいはんなロボット技術センター）を活用し、バスロケーションシステムやEVカーシェアの導入など、新たな交通システムやサービスを展開

「MaaS・α」促進プロジェクト等

- ・MaaSの取組について、「Communication（テレビ会議、Web会議）」や「Factory（工場）」などの分野においても、新たなビジネスの創造など、柔軟なスマートシティを推進
- ・触れることのできるクローン文化財の展示・作製拠点を整備し、アジアの文化財センターをめざす

長岡京市

大山

主要な取組

- 新交通システム等、MaaS (Mobility as a Service) の「レベル4 (交通サービスの統合が進んだ状態の最高レベル)」の実現や、エネルギーの効率利用、農業のスマート化の推進
- 「グレーターけいはんな」相楽東部地域への展開

